

第2回振興計画審議会

日	時	令和7年8月6日（水） 15時00分～16時34分	場	所	第3委員会室
議題・案件等		1．開会 2．議事 (1) これまでの経過等について (2) 第7次長期振興計画構成案について (3) 基本構想案について (4) 長期振興計画体系案について (5) 分野別の基本目標について (6) その他 3．その他			
会議資料		資料①：これまでの経過 資料②：長期振興計画全体構成案 資料③：基本構想案 資料④：市の将来像案 資料⑤：政策体系案 資料⑥：分野別の基本目標案			
協議内容					
○協議経過 ■これまでの経過等について 事務局から資料①により、これまでの経過を報告 【質疑・意見】 委 員) 職員アンケートの結果が資料にないが、どうであったか。実際に市のことをもっともよくわかっている職員の意見を聞きたい。 事務局) 様々な意見はあるが、主なものとして市民委員会と同様の課題が多く挙げられている。 医療機関が少ないことや産業関係でいうと、人材が不足しているため、人材確保に力を入れていかなければならないという点、子育て関係では、雨の日に子どもが遊べる場所がないことや子育て世代の母親が交流できる場所がないことなどが挙げられている。最も多かったのは医療機関が少ないということ、また、高速船の予約が取りづらいことや市内の交通など、交通手段の確保も課題ということで意見が挙げられている。 委 員) 医療機関が少ないという意見が多いが、ここ3年くらいで診療所などが閉まったことを受けてのアンケートなのか。 事務局) アンケートの項目自体はこれまでも入っていたが、ここ数年で回答が増加していることは医療機関が減ってきていることが大きく影響しているのではないかと考えている。 委 員) 島外へ出るものは多い、という意見も多いが、鹿児島県は高校を卒業したら優秀な子になるべく東京に送るというのを明治時代からずっとやってきている県であるが、種子島も					

昔から子どもを都会に出すという動きがあったわけではなく、最近増えたということなのか。

委員) 昔から送り出している。同級生はほとんど出て行っており、残っている方が少ない。

委員) 送り出した後の人口が減ってきているという考えなのか。

委員) そうだと思う。Uターン者が少ない。

委員) 市民アンケートの結果から、表面的なことではなく本質的なことをどう捉えているのか。

この項目が多いとかではなくて、なぜこの項目が多いのかという考察をしているのか。

事務局) 市役所の計画の進行管理については、市民の声を把握することに努めている。それぞれ長期振興計画の目標を定めて、目標が達成できたかどうかを数値などで図っている。その数値を市民アンケートで把握している。例えば、自分たちが住んでいる故郷に今後も住み続けたいのかどうかという数値を約20年累積して取ってきているデータとなっている。その結果が変化しているのであれば、その要因は何なのかということを各所管で探って、目標とするところに持って行くために必要な事業に取り組むようにしているため、市役所の内部で活用している。また市民アンケートは市役所の色々な計画を策定するに当たって基本的な材料としても活用している。

委員) 市民アンケートから何か課題を探るというよりは、今行っている施策の評価のためにアンケートを基準として使っているということか。

事務局) 両方の面から実施している。

■第7次長期振興計画構成案について

事務局から資料②により、構成案について説明

【質疑・意見】

委員) 馬毛島関係で商店街は潤っているところとそうでないところの格差が出ているところであるが、今現在もそうだが今後を見据えたときに街中が暗いと感じている。そういった中で、街路灯なども含めて5年後を見据えた形でまちを明るくする、活性化に繋げていくようなことを検討できないかと考えているが、事務局はどう考えているか。

事務局) しっかりと受け止めさせていただく。表現について、どういった形で盛り込むかという点については検討したい。委員の意見については、しっかり具現化をしていかないといけないことだと考えているため、事業として商店街協同振興組合等とも協議の上、制していきたい。

委員) 補足で。7月の下旬に飲食店組合の総会があったのだが、その中で街路灯の問題も出てきたところである。結構危険な目に遭ったりなどの事例があったとの報告があったため、街路灯の整備というのは早急にするべきではないかと思っている。特に工事が真っ只中の今、そのような意見が多かったところである。

事務局) 補足にはなるが、市も2年ほど前から防犯灯を含めて、国の交付金を活用しLED化や新設に取り組んできている。商店街振興協同組合の街中の取扱いが課題として残っていると感じている。

委員) 実例になるが、女性の方が逃げてお店に飛び込んでくるといったことも結構あるようだ。

委員) 第7次の計画で街路灯に取り組んでいくということか。

事務局) 取組自体はすでに行っているの、引き続き行っていく。計画に盛り込む必要があれば盛り込んでいくということ。

委員) 構成案で、2.(5).①で、人口減少・年齢構造の不均衡・高齢化の進展とあるが、人口減少と高齢化の進展というのはよく聞か、年齢構造の不均衡を一つの項目として出すというのが珍しいと感じたため、あえて年齢構造の不均衡を入れた理由を教えてください。また、次の②担い手不足は①と同じことになる気がする。基本構想の人口将来展望についてどのように書いていくのか。増やすとするのか、維持すると書くのか。第6次では財政状況について記載していたが、第7次では記載しないのかという点が気になったところです。

事務局) まず、年齢構造の不均衡という点については、本市の年齢別人口をみたときに10代後半から20代の人口が極端に少ない状況となっている。この要因については、進学や就職で島外に出ていくことが最も大きいことから記載したいと考えている。担い手不足については、御指摘のとおりであるが、本市において10代後半から20代の人口が極端に少ないこと、それにより働ける世代が少ないため担い手が減少しているという流れで書いていくことを想定している。財政状況に関しては、今回基本構想の中で記載する必要がないと考えていたところだが、検討していきたい人口の将来展望については、昨年度、市の人口ビジョンを見直したため、人口ビジョンをもとに記載していくことになる。国の推計と市の目標人口を比較した形で記載していく予定だが、国の推計よりも減少幅を緩やかにしていくという内容で記載していくことになると考えている。

■基本構想案について

事務局から資料③・④により、市の将来像案について説明

【質疑・意見】

委員) 5年後の西之表市は大きく変わっていることは明らかである。そういった中で、事務局案から選ぶのか、それとも大きく変わることを踏まえた形で考えるのか。

委員) 2030年度で馬毛島工事が完了するため、この辺ですごく変わってくる。将来像案2の最初の2行で違和感を感じていて、これは有人国境離島法の要件だと思うがその後の文章が繋がらないのではないかと。

事務局) 委員御指摘の部分に関しては、市長の所信表明の際の文言となっている。有人国境離島法関係であるが、認識として、本土との格差是正は我々の悲願であり、重要視して取り組んでいく必要があると考えている。構成案のところでも出てきたが、輸送費の問題を何とか解決に向けて取り組んでいかなければならない課題だと考えている。そういった意味合いも含めて考え方として記載している。文言は修正する必要があると考えている。

委員) キャッチフレーズみたいなものだと思うが、島の宝を生かすとあるが、放っておいたら死ぬのか、と感じてしまう。今のままでもいいのではないかと。島の宝が育っていくんだという明るいイメージな気がする。個人の感想だが。

会長) 事務局としては案の2ということだが、委員の皆さんからも意見が出ているので参考にしながら検討していただきたい。

■長期振興計画体系案について

事務局から資料⑤により、政策体系案について説明

【質疑・意見】

委員) 基本事業の73番「移住・定住の促進」とあるが、具体的な取組があるのか。

事務局) 今年度から協議会を立ち上げて移住・定住に力を入れていこうとしているところ。大字の校区からは住宅建設を望む声が非常に多く寄せられている。校区のニーズも様々で、島外からの人を受け入れるための住宅なのか、そもそも出ていけないための住宅なのかなどそれぞれの考えがある中で、多方面の方々の協力を得ながらしっかりと整理する考えを持っている。そのため移住という点についても今後力を入れていかなければならないという考えを持っている。

委員) 空き家バンクの利用登録が今年度40件近くあるが空き家がないと聞いている。

委員) 空いていたとしても先祖代々の家を貸したくないという考えている人が多い。空いている家はある。難しい問題だと思う。

委員) 第6次にも第7次にも書かれていないがいつも考えていることがあって、デジタル化に関して、島に専門家がいらないため外注せざるを得ない。その結果、費用が高くなり負担になっているケースが多い。島独自の人材を作っていく事業を立ち上げていくことも必要ではないかと考えている。事務局としてどのように考えているか教えてほしい。

事務所) 難しい問題だと感じている。市の職員にも担当係があるが、情報技術はどんどん進化しており、職員も追いついていけないところがあるため、専門家に頼らざるを得ない状況もある。市が窓口になることはありだと思うが、やはり最先端の技術を取り入れていくためには専門的なところの意見を取り入れていくのが一番いいのではと考えている。そういったところも含めて、職員や市民委員会の委員からも意見が出ているので、もう少し、議論していければと考えている。

委員) まちづくり分野の施策21～24は市役所内部の話で、地域力の向上だけが浮いていると思うので、暮らし分野のままの方が収まりが良いのではないかと感じる。

事務所) 長期振興計画を策定するに当たって計画を進めるための組織も同時に考えていかなければならない。お示ししているまちづくり分野については、市役所の管理部門である3階4階の課となっているので、そういう面でも整理しながら検討を進めたい。

委員) 暮らし分野で、先日津波で大騒ぎしたこともあった。今後も津波等が発生していくと思うが、その辺の取組はどう考えているか。

事務局) 今回、防災などの安心・安全の部分については基本構想に戦略プロジェクトとして盛り込む必要があると感じており、非常に大きな課題として捉えている。大きなものとして、消防署の移転を本格的に動き出したいという思いもあって、戦略プロジェクトに記載できないかと検討しているところ。具体的な取組についても基本計画の中にこういった取組ができるのかということに記載できればと考えている。

委員) 今、外国人労働者が西之表市でも増えている。こういった方たちが交流できる施設があればいいと思っている。鹿児島市では外国人交流施設がある。そういった施設があれば、お互いコミュニケーションも取ることができるし、市民の方ともイベントなど交流する場があると良い。今後少子化に向けて外国人労働者はどんどん増えていくので将来的に考えていただければ。

■分野別の基本目標案

【質疑・意見】

事務局) 分野別の基本目標は非常に重要なところとなっている。基本構想は議会の議決を経なければならないことになっている。すぐに意見が出るものではないと思うので、後日でも良いので、ご意見を伺わせていただければと思う。

委 員) 自衛隊関係のことは書かなくていいという認識か。

事務局) 色々な分野にまたがってくる内容だと思う。基本構想の中に盛り込める可能性もあるが、どちらかといえば基本計画の中で自衛隊による変化が見込まれどういった事業をしているのかを記載する方向で考えている。

委 員) 議員からは言われると思う。

事務局) その点はまだ検討しているところ。

委 員) 分野別の目標にそれぞれ「まちをつくる」とあるのに一番最後にまちづくり分野とあるのが何か違和感がある。内容は市役所の内部の話なので、どうしてもまちづくり分野じゃないといけないのかと感じている。

委 員) ひと分野に関して、庁内検討会や市民委員会で子どもに関する記載が多いと意見が出ているが、個人的には少子化が一番ポイントで問題だと思っており、人手不足で全てに繋がってくるので、逆に最初の案のように全面的に打ち出すメッセージの方が良いのではないかと思う。

■その他

次回会議について9月中旬頃を目途に開催予定